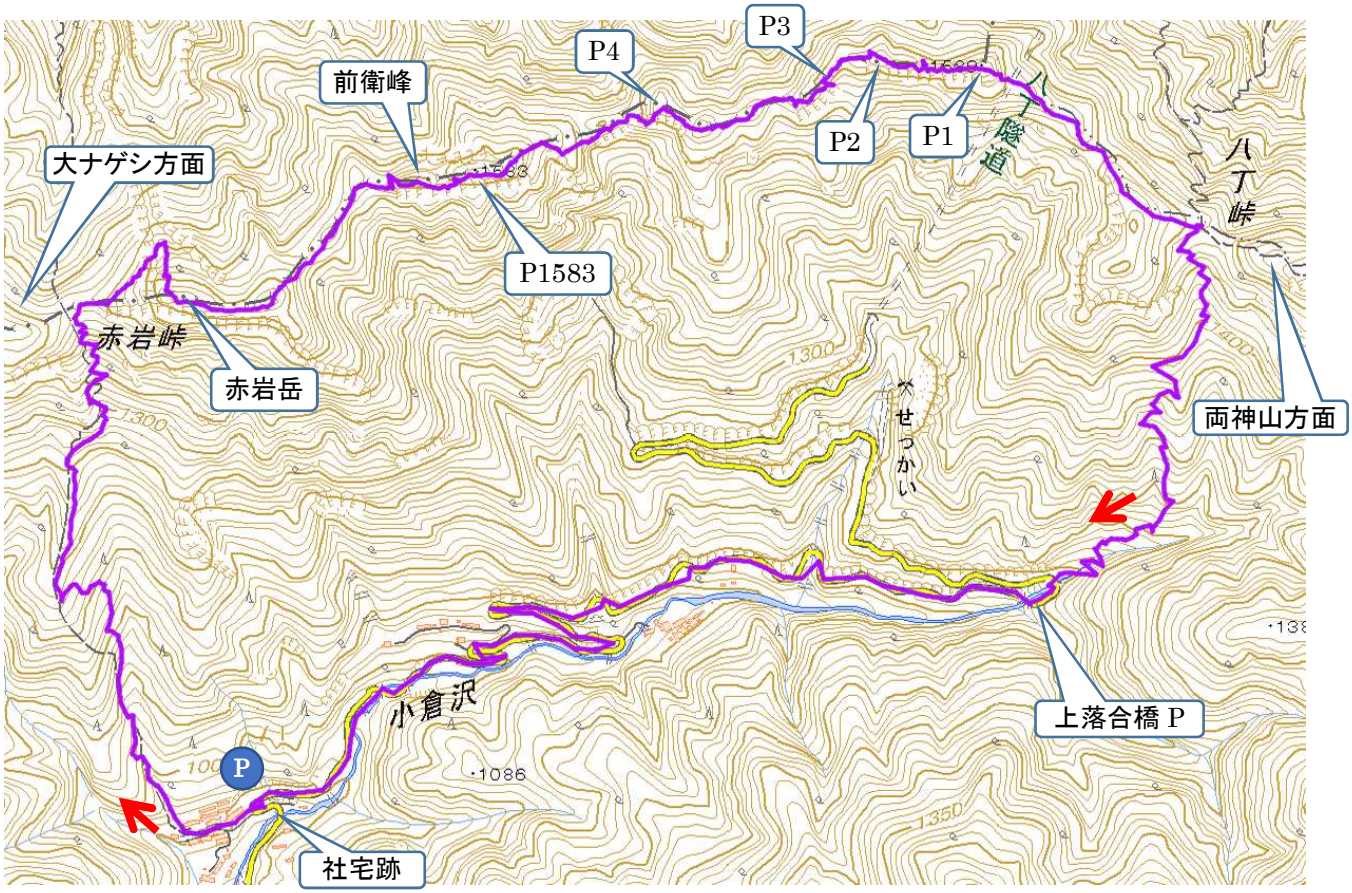
赤岩尾根　山行報告

（山域）　西上州・両神山

（コース）　ニッチツ社宅跡－赤岩峠－赤岩岳－P1583－P4－P3－P2－P1－八丁峠－ニッチツ社宅跡

（日時）　12 月 9 日(土)　（前夜発）　行動 7 時間 45 分、歩行 8km、累積標高 1665m

（参加者）　CL 吉川、萱野香、佐藤（記録）



12 月 8 日　前夜発

千葉を前夜 20 時半に出発し、関越道の花園 IC で降り長い下道を経て、前泊地の道の駅・大滝温泉に到着したのは 0 時頃。軽く宴会して仮眠した。

12 月 9 日　快晴

（山行タイム）社宅跡 7:15－8:20 赤岩峠－9:10 赤岩岳－11:20 P4－12:55 P1－13:45 八丁峠分岐－14:25 上落合橋－15:00 社宅跡

朝 5 時頃起床、外は快晴、各自朝食を摂り、両神山方面に向かう。ぐるり 360 度、ループ橋で一回転し、滝沢ダムで県道 210 号へ右折する。長めのトンネルを抜けると雪が数センチ積もっており、積雪は予想してたがこの先大丈夫なのか心配になる。秩父鉱山、（株）ニッチツの施設を横目に標高を上げていき、社宅跡の入り口は進入禁止だったので手前の路肩に駐車した。噂には聞いていたが、古き良き昭和の遺物、関東一の廃村だそうだ。石灰や鉱物などの採掘で隆盛を極めた頃の面影が至る所にあり、かつては

保育所や小学校もあったらしい。このあたりで幕営・仮眠するのはかなり怖そうだ＾＾；

社宅奥を右手に曲がり、火の用心の横断幕がある橋を渡って登山道に入り、赤岩峠までのつづら折りの道を登る。前日の降雪で 10～20cm ほど積もっていた。私と K さんはチェーンアイゼン、CL は４本アイゼンで進む。１時間弱で赤岩峠に到着し、右手をやや進んでから左手のルンゼに入り登り詰めると赤岩岳、ここから赤岩尾根の始まりである。

しばらく普通の登山道を進んで行くと P1583 の手前の前衛峰の取り付き。雪でスリップしそうで怖く、ロープのお世話になり、がっちり掴んで登り上がった。P1583 は難度の高い直上ルート、ではなく右側のⅢ級程度の緩くてホールドの多いルートを登っていく。このくらいのマイルドな岩が自分には気持ちいい。岩場は雪がほぼ溶けて岩が露出しているので登りやすい。ピーク間の登山道は雪が深かったり滑りやすかったり、大量の落ち葉のズルズルした急斜面を登ったりトラバースしたり、岩場よりもそっちのほうが危なくて緊張する。P4 から順にピークを進んで P3、P2、最後の P1 では、ぽかぽかと暖かい陽だまりの中、長めの休憩を楽しんだ。時間に余裕があれば昼寝したいくらいの気分である。最後は八丁峠から沢沿いの道をダラダラと下り上落合橋へ。終日晴れてとても快適な山行だった。

下山後は、大滝温泉で汗を流し、秩父駅前「珍達そば」でうまいラーメンを食べて帰葉した。甘いネギたっぷりで麺の量も多く（大盛なんて無理）、冷えた体にちょうど良くてお勧めです。CL と K さん、楽しい山行をありがとうございました。

社宅跡を進む

赤岩峠までつづら折りの道、これじゃ雪山だよ！

１時間弱で赤岩峠に到着、左に行けば大ナゲシ

峠から右手、ちょっと進んで左手のルンゼを登る

赤岩岳、ここから赤岩尾根が始まる

八ヶ岳　赤岳・横岳・硫黄岳が見える

前に北陵のヤブ岩を登った大ナゲシがかっこいい　中央右には浅間山が見える

前衛峰の手前、トラバースからの登高

難易度の高い直上コース（を登っているフリ）

Ｐ４通過

Ｐ３

Ｐ２

天気も眺望もよくて最高！！みんなご機嫌で笑顔！

最後のＰ１の手前だったかな

Ｐ１から両神山方面、八丁峠まで行けば下るだけ

八丁峠からはダラダラ、最後は沢沿いの下り

上落合橋に到着　12 月 12 日から冬期通行止め

秩父駅から徒歩５分、秩父名物「珍達そば」　ねぎ大量、麺も多くてウマーイ！ごちそうさまでした！